

News Release

2014年 10月 1日

報道資料

新しい空間演出を実現する「シースループロジェクション」が 経済産業省の“Innovative Technologies 2014”に採択

パイオニアの「シースループロジェクション」が、経済産業省より、優れた技術として“Innovative Technologies 2014”に採択されました。運転に役立つさまざまなAR(拡張現実)情報をフロントガラスの前方に映し出す「AR HUDユニット」、コンピューターグラフィックス(CG)などの3次元形状データから簡単にホログラムを作製することができる「小型フルカラーホログラムプリンター」に続き、3年連続の採択になります。

“Innovative Technologies 2014”は、経済産業省が作成している「技術戦略マップ」の方向性に基づき、その実現に大きな貢献が期待できる先進的な技術を発掘・評価するものです。採択された技術は、産学連携の場で共有され、社会へ発信されます。今回採択された技術は、10月23日(木)～26日(日)に、日本科学未来館で開催される「デジタルコンテンツEXPO 2014」の会場に展示されます。

<経済産業省HP> <http://www.meti.go.jp/press/2014/09/20140916001/20140916001.html>

当社の「シースループロジェクション」は、独自開発の透明スクリーンとプロジェクターを使用し、スクリーンに投影される映像と背景を融合させた、新しい空間演出を実現します。

今回「デジタルコンテンツEXPO 2014」で展示する「シースループロジェクション インタラクティブシステム」は、透明スクリーンに浮かび上がる「シースループロジェクション」の鮮やかな映像と、スクリーンの背後に配置した液晶ディスプレイの映像が連携します。透明スクリーンに触れることでインタラクティブに操作できる表示装置です。スクリーンの背後に液晶ディスプレイを置いた場合にも、映像信号が相互に干渉しないという特長をゲームとして体験できます。

<デジタルコンテンツEXPO 2014概要>

【日時】2014年10月23日(木)～26日(日) 10:00～17:00

【会場】日本科学未来館(東京都江東区青海2-3-6)

【主催】経済産業省、一般財団法人デジタルコンテンツ協会

【料金】入場無料

【公式ホームページ】<http://www.dcexpo.jp>

